

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.10.7

No. 48



意欲で勝負！

企業のかたが高校生の求人に対して、一番望むことは何でしょうか。最低条件として「基礎学力」ということもあるでしょうが、むしろ「意欲」(「やる気」「前向きさ」)がまず問われているように思います。多少学科試験が出来なくとも面接が重視されるのはそうした意味です。また運動系クラブで頑張った生徒が評価されるのもこれに通じるでしょう。但し多くの生徒が応募しているときは、成績順にとらざるを得ないと判断する企業もあります。

しかし世の中は必ずしも学校の成績や学歴だけが全てではないのも事実です。世の中の荒波の中でたくましく生き抜いていく力強さや意欲が無くては、特に現在のような社会では生き残れないでしょう。本校の最近の生徒はおとなしくて真面目な生徒が多くなっていますが、この「意欲」「気迫」という点で物足りない生徒が増えているような気がします。

就職試験の一次でうまくいかなかった人の理由を各企業に問い合わせたところ、「強い意欲が感じられなかった」といういわれた人が何人かありました。学力に自信がない人は、なおのこと「是非ともこの会社に入って頑張りたい」「会社に入ればしっかり頑張る」という強い意欲と決意を示さなくては、道は開きません。二次試験以降、もう一度「意欲で勝負!」ということを肝に銘じてください。

フリーター再考



就職試験が大変厳しく、ひょっとすると卒業時に職が決まらない人が少なからず出てきそうですが、そんな中で自らフリーターで良いと思い始めている人があるかもしれません。しかしフリーターになり、アルバイト等で職を繋いでいると一生涯にもらえる賃金を合計すると正社員に比べて大きな差が出てしまいます。また年をとってからの年金や、社会保険等においてもほとんど保証が無くなり、老後の生活に苦しむことになりかねません。またフリーターを長く続けていると、正規社員への採用も不利となります。フリーターは明らかに「不利だ」。

結果的に卒業式を迎えても職が決まらないということも覚悟しなくてはいけない状況が出てくるかもしれませんが、今から自らあきらめて安易な道を考えるのは早すぎます。自ら何とかしなくてはと強い意志を持たれば道は開けるかもしれません。その強い意志と自らを変えようとする思いが無くては道は開きません。

進路の係としても今後色々な機会を捉えて、求人の開拓に努めていきますが、最後は皆さん個々の意志の問題です。

将来を思い煩うな。
現在為すべきことを為せ。

アミエル